

第4次亀山市行財政改革大綱（最終案）に対する意見

【個別意見】

番号	該当ページ	項目	意見	回答
1	3	第1章 これまでの行財政改革の取組等について 2 第3次行財政改革大綱の検証 【別表】効果額（歳入確保及び歳出抑制等）	「地元協力による草刈り経費の削減」とあるが、どのような内容か。どのような試算に基づいて効果額をカウントしたか。これらが分かるように記載すべきである。	地元協力による草刈に対する報償費とその草刈面積を業者発注した場合の委託料との差額で算出しています。 脚注に説明内容を記述します。
2	17-28	第3章 行財政改革の体系等について	目標Ⅰから目標Ⅲまでの目標項目の合計が19件となっているが、精査すれば目標項目をさらに上積みできるのではないかと考える。目標項目を上積みして記載すべきである。	第3次行財政改革大綱は4つの目標に対して、12の目標項目を設定しており、今回の第4次行財政改革大綱では3つの目標に対して、特に進捗管理する内容について精査し19の目標項目を設定しています。5年間の計画期間中で状況の変化に応じて変更等が必要になった場合は、追加、修正を行います。
3	18-21	第3章 行財政改革の体系等について 2 目標における基本方針と取組内容について 目標Ⅰ 時代に即した行政システムへの改革	三重県内でも桑名市や志摩市のように、行政DXにおいて企業ノウハウを導入している自治体もある中で、本市においても企業ノウハウの導入について記載すべきである。	専門的な知識や経験を有する人材の確保のため、民間企業からの人材派遣について検討しています。「重点方針4 組織の効率的運営とリスク管理の徹底」の取組内容における記述を修正します。
4	20	第3章 行財政改革の体系等について 2 目標における基本方針と取組内容について 目標Ⅰ 時代に即した行政システムへの改革 重点方針5 柔軟な働き方の促進	時間外勤務時間の削減は、職員の健康管理や働き方改革に必要な要件であり、毎回、重点方針にあげられているが、多様化・高度化する行政ニーズへの対応や国や県からの権限移譲等により職員の業務量が増大している中、サービス残業など隠れた残業等になっていないかのチェックシステムが必要である。このことについて記載すべきである。	「重点方針5 柔軟な働き方の促進」においては、適正な職員配置を行うとともに、業務の効率化・平準化を図ることで、時間外勤務時間の削減を目指します。
5	21	第3章 行財政改革の体系等について 2 目標における基本方針と取組内容について 目標Ⅰ 時代に即した行政システムへの改革における目標指標	「防災アプリ加入者数（※累計）」「市公式LINE登録者数（※累計）」のように目標値が累計では、登録を抹消した市民に対して情報伝達ができないため年度最終の登録者数とすべきである。また、総時間外勤務時間と合わせて、人による偏りをなくするため、一人当たりの時間外勤務時間を追記すべきである。	「防災アプリ加入者数」「市公式LINE登録者数」の目標値について、累計数ではなく、令和12年度末時点の最終登録者数に修正します。 時間外勤務時間については、年度に応じて業務内容に変動があることから、適正な人員配置を行うとともに市全体で削減に取り組むこととしているため、総時間外勤務時間を目標指標とします。
6	25	第3章 行財政改革の体系等について 2 目標における基本方針と取組内容について 目標Ⅱ 将来にわたり持続可能な財政基盤の確立における目標指標	「未利用地の売却件数（累計）」のように目標値が件数となっているが、財政基盤の確立が目標であるならば、金額ベースでの目標値とすべきである。	設定する目標項目によっては、金額以外の件数や率を目標指標とする方が明確で、進捗管理上適切である場合もあります。未利用地の売却については、売却時期や売却額を適正に見込むことが難しいため、計画期間内の売却件数を目標指標に設定しています。
7	28	第3章 行財政改革の体系等について 2 目標における基本方針と取組内容について 目標Ⅲ 協働・協創によりすべての人が輝くまちづくりにおける目標指標	自主防災組織結成率の目標値が85%となっているが、自治会未加入など懸念事項はあるが理念上は100%ではないかと考える。 「結成率」ではなく「年間活動率」や「訓練実施率」をKPIにすべきである。	自主防災組織については、理念として全地域での結成が望ましいものの、自治会固有の事情により結成が難しい場合があるほか、新規自治会の発足や自治会の解散等による組織数の変動も踏まえ、現実的な水準として85%を目標値としています。また、活動率や訓練実施率は重要な指標ですが、まずは自主防災組織の結成率を向上させることが重要であるため、結成率を目標として位置付けています。